

〔質〕妊婦健康診査料補助金が使われなかったのは。

〔答〕予算では25名で想定していたが、32名が利用され、1件あたりの単価が予定より下回ったため、減額となった。

〔質〕診療所会計から一般会計に1千1百13万円の繰出金を戻しており、歯科診療は1百87万増えている内訳は。

〔答〕看護師住宅整備住宅整備事業の委託費の減額と外来収入が伸びて増額となり、減額補正になった。また、歯科診療者が増加した。

〔質〕ふるさと応援寄付金の現在の総額は。

〔答〕3月4日現在、1千99万2千1百円。

〔質〕寄附金の中に民生費、児童福祉の寄附があり、ふるさと応援寄附金でも福祉関係の寄附があり、どちらを選んだら良いか悩むのではないか。

〔質〕秘境駅の29年度の寄附件数と金額は。秘境駅マイステーション運動は、町で維持管理する3つの駅の経費に充てていくということか。

〔答〕1百76件、1百91万円の寄附金をいただき、返礼品の経費を除き、基金へ積立て、翌年度にその基金を取崩し、秘境駅の維持管理経費へ充当する。

▽議案第18号

幌延町移住情報PR支援センター設置条例の制定について

〔質〕今まで移住定住の問い合わせは何件ぐらいあったか。

〔答〕直接窓口での相談はない。電話での問い合わせについては、年間数件ある。

▽議案第19号

幌延町産業・地域振興センターの指定管理者の指定について

株式会社幌延町トナカイ観光牧場を指定管理者に選定し、期間は平成30年4月1日から平成35年3月31日。

第1回 まちづくり常任委員会

2月23日

○調査事項

▽社会教育事業チャレンジ教室「雪と遊ぼう」における事故報告について

2月4日、ゴムボートでけん引していたスノーモービルが停車せず、車道の車に衝突した。イベント参加者に怪我はなかった。

事業やイベントに関する事故については、今後も起こり得る可能性があると考えており、安全管理の徹底に職員一丸となって取り組んでいきたい。

▽除排雪経費に係る補正予算の専決処分について

補正の内容としては、道路横断管に係る修繕料1千2百万円の減額と除雪業務委託料の4千2百万円を増額、合計3千万円の増額補正予算。

〔問〕今年は雪が多いので、仕方がないと思うが、町道のふち側が壁になって吹

雪になるとすぐ埋まってしまうので、対処してほしい。

第2回 まちづくり常任委員会

3月1日

○調査事項

▽幌延町国民健康保険の都道府県化について

今まで国保税の算定賦課方式は、所得割、資産割、均等割、平等割の4方式となっていたが、資産割を除いた3方式に変更する。

〔問〕町民への説明会は考えているのか。

〔答〕広報紙等でわかりやすく説明したいと考えている。

〔問〕税率を調整するために5百万円を補填して算定しているが、1年のみの補填か。

〔答〕基本的に今回算定している税率で3年間運用できれば良いと考えている。

▽問寒別地区における移動支援について

Aコープ問寒別店の閉店に伴い、3月1日より午前中に1便、問寒別地区から幌延地区に移動支援を行う。

▽第7期介護保険事業計画・高齢者保険計画の概要について

第7期介護保険事業計画では、幌延町総合計画で謳われている「健やかに安心して暮らせるまちづくり」を当計画の基本理念とし、基本目標として、健康づくり、地域包括ケアシステム強化、深化。介護保険事業の推進。高齢化に対応したまちづくりの推進を掲げている。

第7期計画では、地域の実状、課題、特性と中・長期的な動向を把握し、介護予防に努めつつ、避けられない介護サービスのニーズ増加に対して、地域の創意と工夫により地域ケアシステム更なる強化、深化に取り組み、地域での生活が継続可能となるよう取り組みとしていく。

高齢者保健福祉の取り組み